

希望の郷拠点中期事業計画

1. 中期目標

(1) サービスの充実

ご利用者の満足度向上を図り、自分らしく生き生きと自立した生活をお送りできるよう支援致します。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	目標利用者数 (定員 20 名)	6,160 名×73%	4,496 名

*2024 年度指標値

(2) 地域社会との関係性強化

ボランティアの受入や地域行事の参加等を行い、地域課題や地域ニーズを掴み解決に向けた取組や情報の提供・発信を行っていきます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	ボランティア受入数	—	24 名

(3) 生産性の向上

マネジメント機能の発揮、現場力の向上、ICT の効果的な活用等に取組み、加算取得、稼働率向上に繋げ、付加価値(独自性・差別化)を生み出していきます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	計画稼働率	実稼働率/計画稼働率(73%)	100%
	計画職員充足率	実職員数/計画職員数(常勤換算数)	100%
	人時生産性	付加価値額/総所定労働時間	1.72
	労働生産性	付加価値額/総職員数(常勤換算数)	3,342

*2024 年度指標値

*総所定労働時間＝所定労働日数×8H×総職員数(常勤換算数)

2. 中期計画

(1) サービス計画

自立支援介護理論に沿った基本ケア(水分・食事・排便・運動)を充実させ、状態の確認と取組に対する課題・問題点を明確化していきます。この取組を他拠点と共有し、組織全体で介護技術を確立させていきます。また、ご利用者本位の介護倫理を踏みこむような行為(エイジズム)は完全に排除していく取組を行っていきます。

〈各指標値〉

KPI	1年目	2年目	3年目	内容
個別機能訓練の効果・改善率	—	—	—	計画に基づく個別機能訓練の効果評価を行い、身体機能及び生活機能、生活意欲の向上に繋げる。 〈関連加算〉個別機能訓練加算
ADL(日常生活動作)の維持・向上率、重度化抑制率	—	—	—	ADL値の測定、評価。生活能力の維持・向上を図る。 〈関連加算〉ADL維持等加算
口腔・嚥下機能の維持・改善率	—	—	—	口腔の健康状態、栄養状態のスクリーニング実施。口腔清掃の指導・実施、摂食・嚥下機能に関する訓練の指導・実施、評価を行う。 〈関連加算〉口腔・栄養スクリーニング加算、口腔機能向上加算

(2) 収益計画

〈事業活動計算書〉

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度	2026年度	
サービス活動収益	42.8	42.0	42.0	
サービス活動費用	43.5	43.1	43.0	
(人件費)	30.9	31.0	31.0	74%
(事業費)	8.4	8.5	8.5	20%
(事務費)	2.1	1.9	1.9	5%
(利用者負担軽減額)	0.0	0.0	0.0	
(減価償却費)	2.5	1.8	1.7	
(国庫補助金等特別積立金取崩額)	0.4	0.1	0.1	
サービス活動増減差額	-0.7	-1.1	-1.0	-2%
経常増減差額	-0.7	-1.1	-1.0	-2%

(3) 人員計画

人財確保の活動を行っていきます。採用計画に基づき、人員体制を整備していきます。

(4) 生産性向上計画

- ・稼働率向上のため営業活動を強化していきます。
- ・加算取得計画

現有加算	<ul style="list-style-type: none">・入浴介助加算(Ⅰ)・個別機能訓練加算(Ⅰ)イ・運動機能向上加算・サービス提供体制強化加算(Ⅰ)・介護職員処遇改善加算(Ⅰ)・介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)・科学的介護推進体制加算
計画取得加算	<ul style="list-style-type: none">・入浴介助加算(Ⅱ)・ADL維持加算(Ⅰ)(Ⅱ)・口腔栄養スクリーニング加算(Ⅰ)・口腔機能向上加算(Ⅱ)

(5) 地域との関係性強化計画

地域住民や学生等へ適切な誘因を提供し活動者(ボランティア)の増加を図っていきます。サービス内容を外部へ開き(解放)、地域の方へ理解いただくことや地域との触れ合いを増やしご利用者の健康的な生活を支援していきます。

(6) 積立計画

(単位:千円)

積立額	2024年度	2025年度	2026年度
再建設	0	0	0
大規模修繕	0	0	0
その他	0	0	0
合計	0	0	0

(7) 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、業務継続計画に基づくシミュレーションや訓練を行います。

以上

桃源の家拠点中期事業計画
(特別養護老人ホーム桃源の家)

1. 中期目標

(1) サービスの充実

ご利用者の個性が再獲得できるような方向の介護、自分を取り戻していただく介護の実践を繰り返し、その人らしい生活の実現を目指します。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	月平均稼働日数	35,770 日/12 カ月	2,670 日 (稼働率 88%)

*定員 100 名

*2024 年度指標値

(2) 地域社会との関係性強化

地域の方々と包括的な社会形成を築いていくため、施設資源の活用やボランティアの受入、公益的事業活動等を積極的に実施し理解いただけるよう取り組んでいきます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	オレンジカフェ・ひだまりサロン・ボランティアの年間参加者数	—	200 名

(3) 生産性の向上

マネジメント機能の発揮、現場力の向上、ICT の効果的な活用等に取組み、加算取得、稼働率向上に繋げ、付加価値(独自性・差別化)を生み出していきます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	計画稼働率	実稼働率/計画稼働率(88%)	100%
	計画職員充足率	実職員数/計画職員数(常勤換算数)	100%
	人時生産性	付加価値額/総所定労働時間	2.22
	労働生産性	付加価値額/総職員数(常勤換算数)	4,324

*2024 年度指標値

*総所定労働時間＝所定労働日数×8H×総職員数(常勤換算数)

2. 中期計画

(1) サービス計画

ご利用者の視点に立ち、ご利用者の自己実現欲求の実現を目指すためには、身体的自立がスタートとなり、認知症状の場合は行動・心理症状の消失がスタートとなります。こうした倫理観に基づき、自立支援介護理論に沿った基本ケア(水分・食事・排

便・運動)を充実させ、状態の確認と取組に対する課題・問題点を明確化していきます。この取組を他拠点と共有し、組織全体で介護技術を確立させていきます。また、ご利用者本位の介護倫理を踏みにじるような行為(エイジズム)は完全に排除していく取組を行っていきます。

〈各指標値〉

KPI	1年目	2年目	3年目	内容
個別機能訓練の効果・改善率	—	—	—	計画に基づく個別機能訓練の効果評価を行い、身体機能及び生活機能、生活意欲の向上に繋げる。 〈関連加算〉個別機能訓練加算
ADL(日常生活動作)の維持・向上率、重度化抑制率	—	—	—	ADL値の測定、評価。生活能力の維持・向上を図る。 〈関連加算〉ADL維持等加算
褥瘡発生率	0%	0%	0%	褥瘡の発生を予防するために対策を行い計画的に管理する。 〈関連加算〉褥瘡マネジメント加算
おむつ使用率	20%	10%	0%	自立した排せつを支援、排せつケア体制を敷き状態の改善を図る。 〈関連加算〉排泄支援加算
栄養状態の改善率	—	—	—	計画に従い継続的な栄養管理を強化する。 〈関連加算〉栄養マネジメント強化加算
口腔・嚥下機能の維持・改善率	—	—	—	誤嚥防止、経口維持の支援を実施。 〈関連加算〉経口維持加算

(2) 収益計画

〈事業活動計算書〉

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度	2026年度	
サービス活動収益	455.3	490.0	490.0	
サービス活動費用	415.7	446.7	451.4	
(人件費)	281.1	306.0	310.0	63%
(事業費)	77.8	83.3	84.0	17%
(事務費)	32.4	33.0	33.0	7%
(利用者負担軽減額)	1.4	1.4	1.4	
(減価償却費)	45.0	45.0	45.0	
(国庫補助金等特別積立金取崩額)	22.0	22.0	22.0	
サービス活動増減差額	39.6	43.3	38.6	8%
経常増減差額	39.6	43.3	38.6	8%

*2025年度定員100名満床計画

(3) 人員計画

人財確保の活動を行っていきます。採用計画に基づき、人員体制を整備していきま

(4) 生産性向上計画

- ・稼働率向上のため営業活動(周知活動)を強化していきます。
- ・現有介護ロボットの機能を十分発揮させるとともに、効果的な導入の調査、研究を行っていきます。
- ・加算取得計画

現有加算	看護体制加算Ⅰ 看護体制加算Ⅱ 栄養マネジメント強化加算 療養食加算 看取り介護体制加算Ⅰ 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ 初期加算 外泊時・入院時加算 安全対策体制加算 個別機能訓練加算Ⅰ 個別機能訓練加算Ⅱ
------	---

	日常生活継続支援加算Ⅱ 科学的介護推進体制加算 配置医師緊急時対応加算 個別機能訓練加算Ⅰ・Ⅱ 褥瘡マネジメント加算Ⅰ・Ⅱ 再入所時栄養連携加算 夜勤配置職員加算 (以下対象がある場合) 若年性認知症入居者受入加算 退所前後訪問相談援助加算 退所前連携加算 退所時相談支援加算 在宅復帰支援機能加算 在宅・入所相互利用加算 認知症行動・心理症状緊急対応加算・
計画取得加算	経口維持加算 ADL維持等加算Ⅰ 自立支援促進加算 排泄支援加算Ⅰ 認知症チームケア推進加算 協力医療機関連携加算 特別通院送迎加算 (以下対象がある場合) 高齢者施設等感染対策向上加算

(5) 地域との関係性強化計画

地域住民や学生等へ適切な誘因を提供し活動者（ボランティア）の増加を図っていきます。サービス内容を外部へ開き（解放）、地域の方へ理解いただくことや地域との触れ合いを増やしご利用者の健康的な生活を支援していきます。

(6) 積立計画

(単位：千円)

積立額	2024年度	2025年度	2026年度
再建設	5,516	15,000	15,000
大規模修繕	1,000	3,000	3,000
その他	700	2,000	2,000
合計	7,216	20,000	20,000

(7) 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、業務継続計画に基づくシミュレーションや訓練を行います。

以上

(老人短期入所事業 特別養護老人ホーム桃源の家)

1. 中期目標

(1) サービスの充実

利用調整を上手く行い在宅生活の延長を念頭に置いたサービスの提供に努めます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	月平均稼働日数	3,285 日/12 カ月	273 日 (稼働率 90%)

*2024 年度指標値

(2) 地域社会との関係性強化

地域包括ケアシステムの現状と課題を踏まえ、居宅介護支援事業所、他サービス事業者と連携を密にして個別ニーズに迅速・丁寧な対応を行い、地域課題に沿った事業展開に努めていきます。

(3) 生産性の向上

マネジメント機能の発揮、現場力の向上、ICT の効果的な活用等に取り組み、加算取得、稼働率向上に繋げ、付加価値(独自性・差別化)を生み出していきます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	計画稼働率	実稼働率/計画稼働率(90%)	100%
	計画職員充足率	実職員数/計画職員数(常勤換算数)	100%
	人時生産性	付加価値額/総所定労働時間	2.70
	労働生産性	付加価値額/総職員数(常勤換算数)	5,246

*2024 年度指標値

*総所定労働時間=所定労働日数×8H×総職員数(常勤換算数)

2. 中期計画

(1) サービス計画

ご利用者の視点に立ち、ご利用者の自己実現欲求の実現を目指すためには、身体的自立がスタートとなり、認知症状の場合は行動・心理症状の消失がスタートとなります。こうした倫理観に基づき、自立支援介護理論に沿った基本ケア(水分・食事・排便・運動)を充実させ、状態の確認と取組に対する課題・問題点を明確化していきます。この取組を他拠点と共有し、組織全体で介護技術を確立させていきます。また、ご利用者本位の介護倫理を踏みにじるような行為(エイジズム)は完全に排除していく取組を行っていきます。

(2) 収益計画

〈事業活動計算書〉

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度	2026年度	
サービス活動収益	40.4	40.0	40.0	
サービス活動費用	28.3	28.5	28.5	
(人件費)	19.7	20.0	20.0	50%
(事業費)	6.8	6.5	6.5	16%
(事務費)	1.8	2.0	2.0	5%
(利用者負担軽減額)	0	0	0	
(減価償却費)	0	0	0	
(国庫補助金等特別積立金取崩額)	0	0	0	
サービス活動増減差額	12.1	11.5	11.5	29%
経常増減差額	12.1	11.5	11.5	29%

(3) 人員計画

採用計画に基づき人員体制を整備していきます。

(4) 生産性向上計画

- ・稼働率向上のため営業活動(周知活動)を強化していきます。
- ・現有介護ロボットの機能を十分発揮させるとともに、効果的な導入の調査、研究を行っていきます。
- ・加算取得計画

現有加算	<ul style="list-style-type: none">・若年性認知症加算・送迎加算・療養食加算・サービス提供体制強化加算Ⅲ・介護職員処遇改善加算Ⅰ・介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ・夜勤職員配置加算・認知症行動・心理症状緊急対応加算・緊急短期受入加算・
計画取得加算	<ul style="list-style-type: none">・医療連携強化加算・看護体制加算

その他については、特別養護老人ホーム桃源の家拠点と同様とする。

以上

香梅苑拠点中期事業計画

1. 中期目標

(1) サービスの充実

地域との交流を促進し家庭復帰、社会復帰に向けて自立意欲の助長を図ると共に、趣味・クラブ活動等を通して日常の楽しみを提供する施設サービスを行っていきます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	月平均在籍日数	17,885 日/12 カ月	1,490 日 (稼働率 98%)

*2024 年度指標値

(2) 地域社会との関係性強化

保護施設として、入居者の生きがいの高揚や社会復帰に向けての自立意欲向上のため、地域との関係維持・継続を図ります。また施設がもつ専門的知識や技術などを活かすため、地域住民、ボランティア、学校、行政、医療及び福祉関係者との連携を強化します。災害時などに於ける要支援者の支援ネットワークの構築など地域に根差した施設づくりを目指します。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	地域住民等施設受入	年間 50 名	四半期 13 名
	施設外活動参加	年間 50 名	四半期 13 名

(3) 生産性の向上

マネジメント機能の発揮、現場力の向上、ICT の効果的な活用等に取り組み、加算取得、稼働率向上に繋げ、付加価値(独自性・差別化)を生み出していきます。

KGI	指標名	算出式	指標値
(重要最終目標指標)	計画稼働率	実稼働率/計画稼働率(98%)	100%
	計画職員充足率	実職員数/計画職員数(常勤換算数)	100%
	人時生産性	付加価値額/総所定労働時間	2.61
	労働生産性	付加価値額/総職員数(常勤換算数)	5,084

*2024 年度指標値

*総所定労働時間＝所定労働日数×8H×総職員数(常勤換算数)

2. 中期計画

(1) サービス計画

保護施設、介護施設の両機能を発揮しサービスの充実に努めていきます。

自立支援介護理論に沿った基本ケア(水分・食事・排便・運動)を充実させ、状態の確認と取組に対する課題・問題点を明確化していきます。この取組を他拠点と共有し、組織全体で技術を確立させていきます。また、生活支援を行っていく上で、エイジズムといわれる行為は完全に排除していく取組を行っていきます。

〈各指標値〉

KPI	1年目	2年目	3年目	内容
個別機能訓練の効果・改善率	—	—	—	計画に基づく個別機能訓練の効果評価を行い、身体機能及び生活機能、生活意欲の向上に繋げる。 〈関連加算〉個別機能訓練加算
ADL(日常生活動作)の維持・向上率、重度化抑制率	—	—	—	ADL値の測定、評価。生活能力の維持・向上を図る。 〈関連加算〉ADL維持等加算
口腔・嚥下機能の維持・改善率	—	—	—	口腔の健康状態、栄養状態のスクリーニング実施、評価を行う。 〈関連加算〉口腔・栄養スクリーニング加算

(2) 収益計画

〈事業活動計算書〉

(単位:百万円)

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	
サービス活動収益	191.0	192.0	192.0	
サービス活動費用	157.5	159.8	160.8	
(人件費)	96.1	98.0	98.5	51%
(事業費)	39.4	40.0	40.5	21%
(事務費)	11.3	11.5	11.5	6%
(利用者負担軽減額)	0	0	0	
(減価償却費)	24.4	24.0	24.0	
(国庫補助金等特別積立金取崩額)	13.7	13.7	13.7	
サービス活動増減差額	33.5	32.2	31.2	16%
経常増減差額	33.5	32.2	31.2	16%

(3) 人員計画

人財確保の活動を行っていきます。採用計画に基づき、人員体制を整備していきま
す。

(4) 生産性向上計画

- ・稼働率向上のため関係機関との情報共有を強化していきます。
- ・現有介護ロボットの機能を十分発揮させるとともに、効果的な導入の調査、研究を行っていきます。
- ・加算取得計画

現有加算	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関連携加算 ・サービス提供体制強化加算Ⅲ ・科学的介護推進加算 ・処遇改善加算Ⅰ ・措置費、管理費加算
計画取得加算	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔・栄養スクリーニング加算 ・夜間看護体制加算 ・ADL 維持等加算Ⅰ ・個別機能訓練加算Ⅰ ・生活機能向上連携加算Ⅰ ・退院・退所時連携加算 ・認知症専門ケア加算Ⅰ

(5) 地域との関係性強化計画

地域住民や学生等へ適切な誘因を提供し活動者（ボランティア）の増加を図っていきます。サービス内容を外部へ開き（解放）、地域の方へ理解いただくことや地域との触れ合いを増やしご利用者の健康的な生活を支援していきます。

(6) 積立計画

(単位：千円)

積立額	2024年度	2025年度	2026年度
再建設	13,820	20,000	20,000
大規模修繕	0	0	0
その他	3,000	5,000	5,000
合計	16,820	25,000	25,000

(7) 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、業務継続計画に基づくシミュレーションや訓練を行います。

以上

いわみ西・東・日貫保育所拠点中期事業計画

保育理念

- ・保育に欠けるすべての子どもにとって、最もふさわしい生活の場を保障し愛護すると共に、最善の利益を守り保護者や地域と力を合わせ、共にその福祉を積極的に増進します。
- ・集団生活の中で、一人ひとりの能力を最大限に発揮できるよう豊かな人間性を持った子どもを育成します。子育て負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育ちができるよう保護者への支援をし併せて地域における家庭支援も行います。
- ・児童福祉の推進を図るために職員は豊かな愛情を持って接し、児童の処遇向上のため知識の習得と技能の向上に努めます。また、家庭支援のために常に社会性と良識に磨きをかけ相互に啓発を行います。

保育指針

- ・一人ひとりの子どもの育ちを支えます
(現在をもっともよく生き望ましい力の基礎を培います)
- ・保護者の子育てを支えます。
(保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し援助します)
- ・子どもと子育てにやさしい地域を作ります
(地域との触れ合いや連携を図ります)

保育目標

～心豊かにたくましく生きる子ども～

- ・いきいき遊び、やる気とやりぬく気力のある子ども
- ・人の話をよく聞き、自分の思いを伝えられる子ども
- ・思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども

1. 中期目標

(1) サービスの充実

保育所保育指針に基づいて保育を行っていきます。これまでの「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の各領域に沿って発達に応じたかかわりを行い、養護と教育を一体的に展開し、保育士が子どもを一人の人間として尊重し、深く愛し、守り、支えていきたいと思えます。また、指針に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を目指し、認知的能力だけではなく非認知的能力を高めるために「知識及び技能の獲得」「思考力、判断力、表現力などの基礎」「学びに向かう力、人間等」を育むことを目標とします。

地域子育て支援センターにおいては、子育て家族の育児不安や孤独感を軽減し、子育ての楽しさや成長の喜びを感じることができるよう支援をします。

(2) 地域社会との関係性強化

地域に育まれる保育所として、地域の方々との交流を進め、保育所でなければ体験できない貴重な経験の場を子どもたちに提供していきます。

(3) 生産性の向上

マネジメント機能の発揮、現場力の向上、ICTの効果的な活用等に取り組み、加算取得、稼働率向上に繋げ、付加価値(独自性・差別化)を生み出していきます。

〈いわみ西保育所〉

KGI (重要最終目標指標)	指標名	算出式	指標値
	計画稼働率	実稼働率/計画稼働率	100%
	計画職員充足率	実職員数/計画職員数(常勤換算数)	100%
	人時生産性	付加価値額/総所定労働時間	1.74
	労働生産性	付加価値額/総職員数(常勤換算数)	3,391

〈東保育所〉

KGI (重要最終目標指標)	指標名	算出式	指標値
	計画稼働率	実稼働率/計画稼働率	100%
	計画職員充足率	実職員数/計画職員数(常勤換算数)	100%
	人時生産性	付加価値額/総所定労働時間	1.69
	労働生産性	付加価値額/総職員数(常勤換算数)	3,278

〈日貫保育所〉

KGI (重要最終目標指標)	指標名	算出式	指標値
	計画稼働率	実稼働率/計画稼働率	100%
	計画職員充足率	実職員数/計画職員数(常勤換算数)	100%
	人時生産性	付加価値額/総所定労働時間	1.96
	労働生産性	付加価値額/総職員数(常勤換算数)	3,819

*2024年度指標値

*総所定労働時間=所定労働日数×8H×総職員数(常勤換算数)

2. 中期計画

(1) サービス計画

重点サービスは以下のとおりです。

- ・心の安定に繋がる保育の実施
- ・遊びを学びに繋げる保育の実施
- ・地域と繋がる保育の実施
- ・食育の実施
- ・保護者の子育て支援（地域子育て支援センター含む）

(2) 収益計画

〈いわみ西保育所拠点〉

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度	2026年度	
サービス活動収益	90.9	85.0	85.0	
サービス活動費用	89.8	84.3	84.2	
（人件費）	67.8	65.0	65.0	76%
（事業費）	13.9	13.0	13.0	15%
（事務費）	6.6	5.0	5.0	6%
（その他）	1.0	1.0	1.0	
（減価償却費）	7.5	7.2	7.0	
（国庫補助金等特別積立金取崩額）	7.0	6.9	6.8	
サービス活動増減差額	1.1	0.7	0.8	1%
経常増減差額	1.1	0.7	0.8	1%

〈東保育所拠点〉

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度	2026年度	
サービス活動収益	88.0	88.0	88.0	
サービス活動費用	84.2	87.0	87.4	
（人件費）	66.0	69.0	69.0	78%
（事業費）	11.0	11.0	11.0	13%
（事務費）	5.5	5.5	5.5	6%
（その他）	1.0	1.0	1.0	
（減価償却費）	8.7	8.1	8.0	
（国庫補助金等特別積立金取崩額）	8.0	7.6	7.1	
サービス活動増減差額	3.8	1.0	0.6	1%
経常増減差額	3.8	1.0	0.6	1%

〈日貫保育所拠点〉

(単位:百万円)

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	
サービス活動収益	31.5	31.0	31.0	
サービス活動費用	28.9	29.0	29.0	
(人件費)	22.3	22.5	22.5	73%
(事業費)	4.0	4.0	4.0	13%
(事務費)	1.7	1.7	1.7	5%
(その他)	0.3	0.3	0.3	
(減価償却費)	1.5	1.3	1.3	
(国庫補助金等特別積立金取崩額)	0.9	0.8	0.8	
サービス活動増減差額	2.6	2.0	2.0	6%
経常増減差額	2.6	2.0	2.0	6%

(3) 人員計画

人財確保の活動を行っていきます。採用計画に基づき、人員体制を整備していきます。

(4) 生産性向上計画

現有 ICT の機能を十分発揮させ、評価検証を行いながら生産性を高めていきます。

(5) 地域との関係性強化計画

地域住民や学生等へ適切な誘因を提供し活動者（ボランティア）の増加を図っていきます。

(6) 積立計画

〈いわみ西保育所〉

(単位:千円)

積立額	2024 年度	2025 年度	2026 年度
再建設	0	800	800
大規模修繕	0	100	100
その他	0	100	100
合計	0	1,000	1,000

〈東保育所〉

(単位：千円)

積立額	2024年度	2025年度	2026年度
再建設	1,600	800	800
大規模修繕	200	100	100
その他	200	100	100
合計	2,000	1,000	1,000

〈日貫保育所〉

(単位：千円)

積立額	2024年度	2025年度	2026年度
再建設	0	0	0
大規模修繕	0	0	0
その他	200	1,000	1,000
合計	200	1,000	1,000

(7) 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、業務継続計画に基づくシミュレーションや訓練を行います。

以上